MITSUBISHI

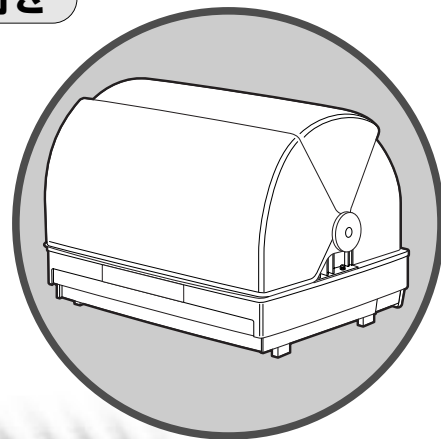
取扱説明書

保証書付

保証書は、この取扱説明書の
裏表紙に記載されております。

三菱キッチンドライヤー（家庭用）

形名 TK-ST10

消臭プレート付き

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の「保証書」は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書（保証書）」は大切に保存してください。
- 添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」は大切に保存してください。

もくじ

ページ

この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■本文中の図記号の意味は次の通りです。

禁止	分解禁止	接触禁止
水ぬれ禁止	指示を守る	電源プラグを抜く

（本体表示）

感電注意

⚠警告

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
（コンセントを他の器具と同時に使ったり、机や家具のコンセントを使うと、異常発熱して、発火・火災の原因）
＊延長コードも定格15A以上のものを単独でお使いください。

異常・故障時には直ちに使用を中止する
（発煙・発火・感電の原因）
● 電源コードやプラグが異常に熱い。
● 異常な振動や音がする。
● 電源が入らない。
● その他の異常・故障がある。
➡故障や事故防止のため、電源プラグを抜いてから、必ず販売店にご連絡ください。

水につけたり、水をかけたりしない
（感電・ショートの原因）

分解・修理・改造をしない
（感電・発火・けが・異常動作の原因）
＊修理は、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口」（別紙一覧表）にご相談ください。

傷んだ電源コード・プラグや差込みのゆるいコンセントは使わない
（感電・ショート・発火の原因）

電源コード・プラグを傷つけない
（重い物をのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、加工したりすると、破損して感電・発火の原因）

お子さまだけで使わせない
幼児の手の届くところで使わない
（やけど・感電・けがの原因）

⚠注意

電源プラグを持って抜く
（電源コードを持って引き抜くと、感電・ショート・発火の原因）

使用時以外は、電源プラグを抜く
ぬれた手で抜差ししない
（絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐため）

ガスコンロ等の炎や熱気のあたる所に置かない（火災の原因）
＊油の飛び散る所にも置かないでください。

使用中、使用直後は内部（特に温風吹出口）が熱いので触らない
（やけどの原因）

お願い

傾けて置かない
（排水しにくく、水もれの原因）

食器の乾燥以外に使わない
（故障の原因）

ふたにふきんなどをかけない
（変形・変色・故障の原因）

ピンや針金などの異物を入れない（感電・故障の原因）

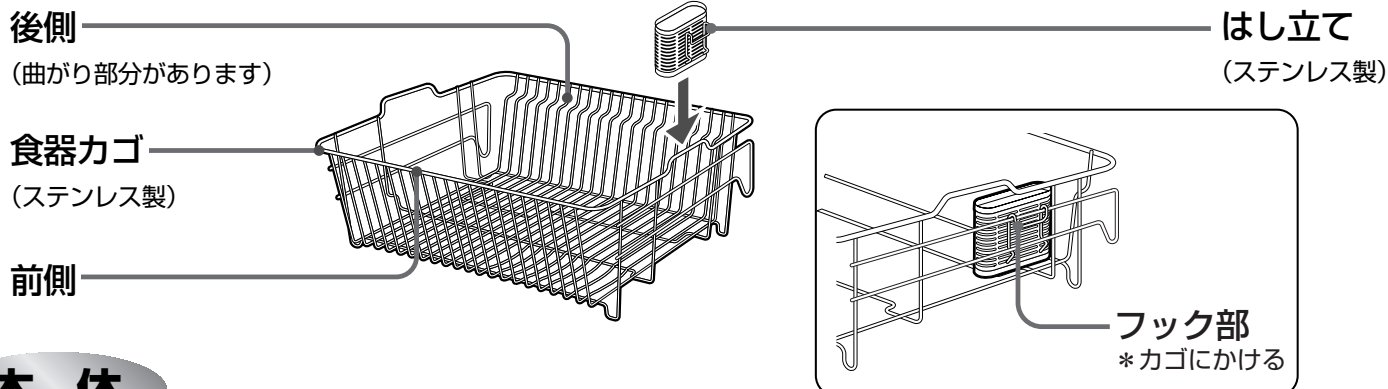
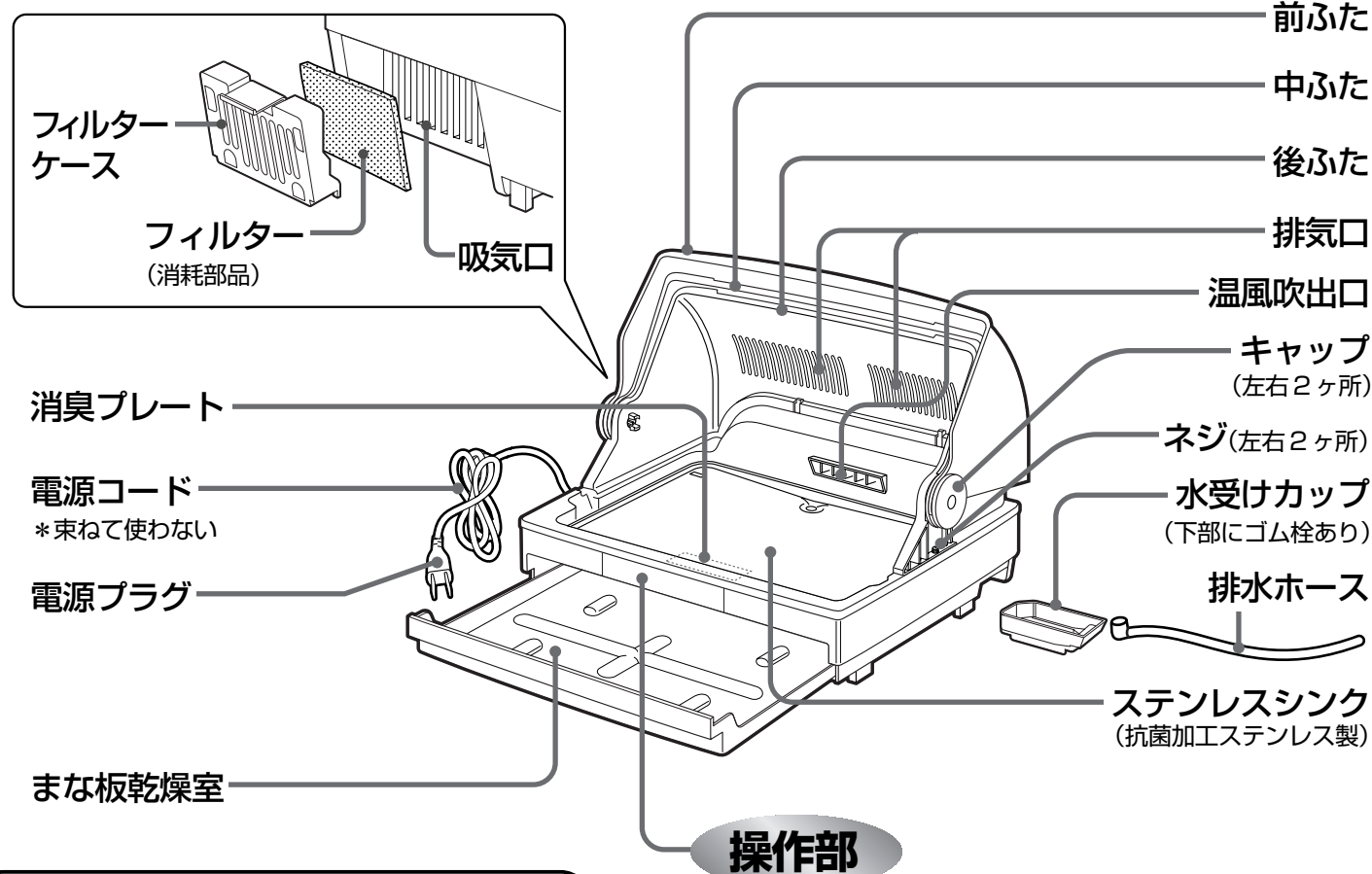
吸・排気口や温風吹出口をふさがない（変形・故障の原因）

熱に弱いものや以下の食器は入れない
● ひびの入った食器（割れの原因）、漆塗りの食器（変形の原因）
● カットグラス・クリスタルガラス（割れの原因）
● 耐熱温度100℃以下のもの、スチロール製のもの、耐熱温度表示のないもの（変形の原因）

仕様

項目	内容	項目	内容
電源	交流100V　50-60Hz	標準食器量 6人分	大皿（19～27㎝）2枚 中皿（16～19㎝）6枚 小皿（16㎝未満）6枚 茶わん・汁わん・湯のみ　各6コ はし・フォーク・スプーン　各6人分
消費電力	265W		
タイマー	電子式タイマー		
安全装置	ヒーター用温度ヒューズ（142℃） 温度過昇防止用サーモスタット（自動復帰式） モーター用温度ヒューズ	脚間寸法	幅447×奥行275㎜
		まな板サイズ	最大　幅250×長さ420×厚さ30㎜
外形寸法	幅489×奥行401×高さ359㎜（ふた開口時376㎜）	質量	4.7kg
コードの長さ	1.4m	付属品	はし立て　1コ、排水ホース　1本

各部のなまえ／消耗部品

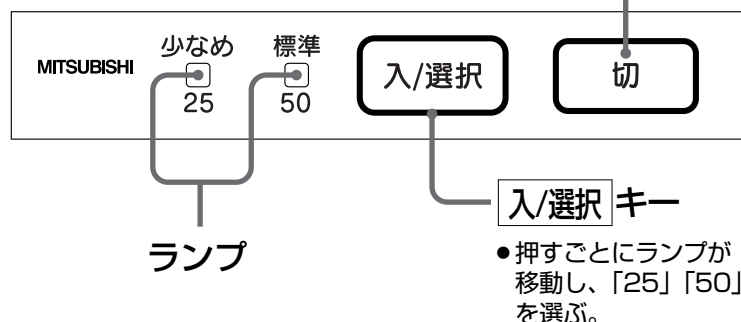
カ　ゴ

本　体

消耗部品

フィルター、ふたグリスは消耗部品です。
お買い上げの販売店でお買求めください。

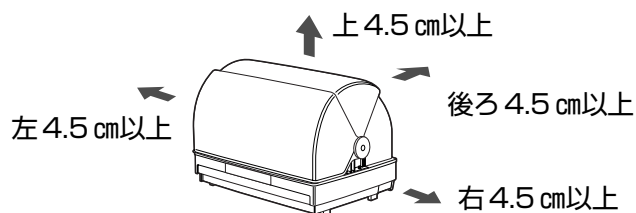
〈フィルター〉
部品コード：M16 759 349F

ご使用により、傷んできたら、取りかえてください。

〈ふたグリス〉
部品コード：M16 754 630

お手入れでふき取ってしまったら、塗ってください。

準 備

設置場所

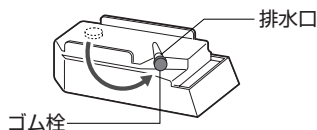
- 可燃物から下記の距離をはなす
- 本体の前面は開放して使う

消防法　基準適合

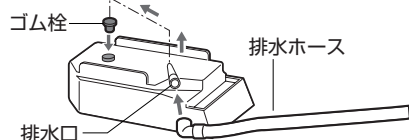
次の場所では使わない（変形・故障の原因）
■電子レンジの上や近く
■油の付着しやすいところ
■熱に弱い物の上
（耐熱温度 70 ℃以下の物やビニールシートなど）

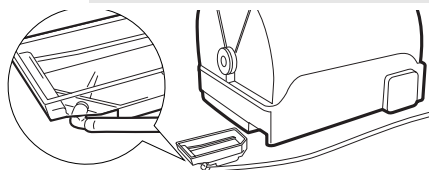
水受けカップの確認

- 奥まで確実に入れる

排水ホースを使用しないとき

- 水は毎回捨てる
- 排水口にゴム栓がついていることを確認する

排水ホースを使用するとき

①水受けカップを本体から取出す
②排水口のゴム栓をはずし、かわりに排水ホースを取付ける（はずしたゴム栓は底面に取付けて保管する）

③排水ホースの先端をシンクに向け、水受けカップを本体にセットする

お知らせ
排水ホースを本体の後側に通して、反対側に排水することもできます

フィルターの確認

フィルターをはずしたまま使わない
（ゴミやホコリが入り、故障の原因）

使いかた

1 食器、まな板を入れて、ふたを閉める

お願い

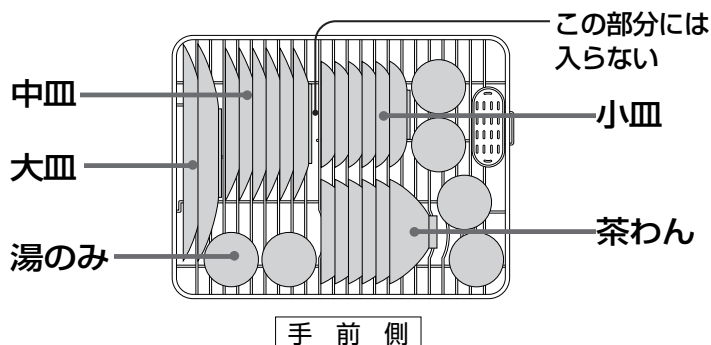
■ふたの開閉は静かに行う（割れ・故障を防ぐため）
■食器カゴの向きを正しくセットする（がたつきを防ぐため）
■専用の食器カゴ以外は使わない（変形・故障の原因）
■食器は食器カゴをセットしてから並べ、大皿はカゴの枠にたてかける（たおれて割れるのを防ぐため）
■熱に弱い物（2 ページ「お願い」）は入れない（変形・割れの原因）
■包丁は収納しない（けがの原因）
■ふたは確実に閉める（ふたが開いていると乾きが悪くなる）
■まな板乾燥室を開閉するときは、（入/選択）を押さないよう気をつける
■後ふたのネジがゆるんでいるときは締める（振動音を防ぐため）

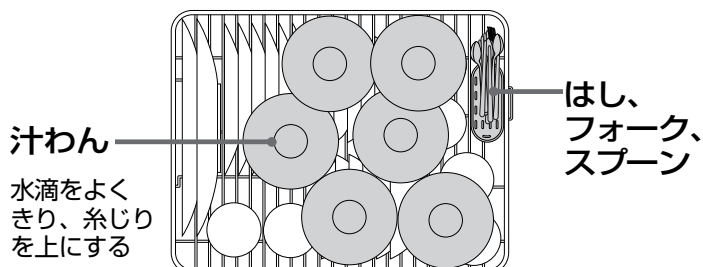
お知らせ

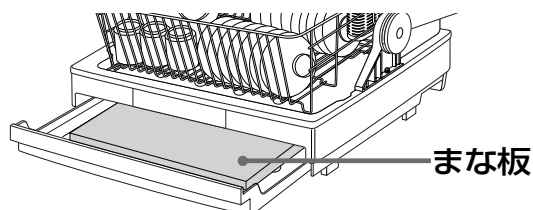
■ステンレスシンクをはずしても使用できます。
■ふたとふたの間は、乾燥向上のためにスキマがあいています。

①皿、茶わん、湯のみを並べる（左側から並べる）

〈上から見た図〉

手　前　側

お知らせ
食器の種類により食器が立たなかったり並べにくいことがあります。

②汁わんをのせ、はしなどを入れる

③まな板をまな板乾燥室に入れる

（最大寸法　幅 250 ×長さ 420 ×厚さ 30 mm）

② 電源プラグを差込み、乾燥時間を選ぶ

例）「50」を選んだとき

少なめ □ 25	標準 ■ 50	入/選択	切

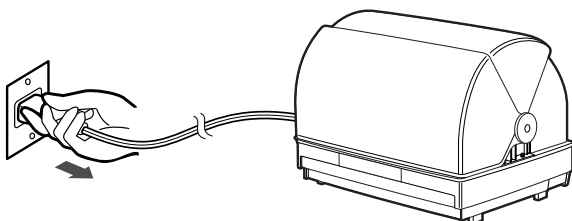
- (入/選択)を押すごとに、少なめ「25」←→ 標準「50」をくり返す。
- (入/選択)を押して乾燥時間を設定すると、ランプが点灯し、運転が始まる。
- 運転が終了すると、ランプが消灯する。

約25（分）	食器の量が少ないとき、食器をあたためるとき、乾燥を追加するとき
約50（分）	標準食器量の乾燥時間（湿度65～90％の場合）

お知らせ

■食器の量や並べかたなどにより、乾きが悪い場合があります。そのときは、25分追加してください。
■運転中に電源プラグを抜いたり、停電したときは、「切」の状態になります。
　はじめから操作をやり直してください。

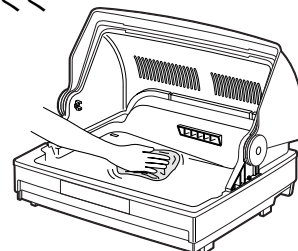
使用後は

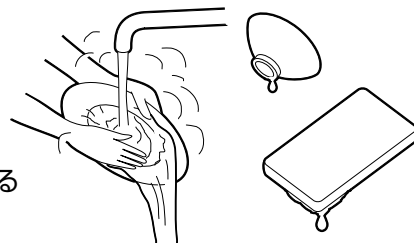
- 水受けカップにたまった水は捨てる。（水があふれて水もれを防ぐため）
- 電源プラグを抜く。
- 食器、まな板が冷めてから（約30分後）取出す。

お願い

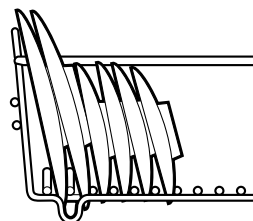
■運転が終了した直後は、本体、ステンレスシンク・食器カゴなどが熱いのでさわらない（やけどの原因）
■使わないときは、電源プラグを抜く
（「切」の状態でもマイコン回路で約1.2Wの消費電力がある）

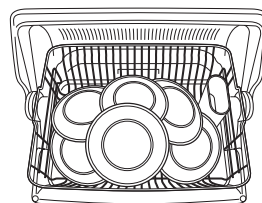
上手な使いかた

食器カゴの下にたまった水滴は、こまめにふきとる

- カルキが付着し、取れにくくなるのを防ぐ

お湯で洗い、水をよくきる

- お湯で洗うと乾きやすくなる
- 糸じりやまな板の水滴はよくきってから入れる

食器を入れすぎない

- 空気の流れをよくして、食器に温風がいきわたるようにする

お皿が立たなかったり、並べにくいとき

- 適度に間隔をあけて、積み重ねて並べる
乾きが悪いときは、時間を追加する

木製のまな板の乾燥は

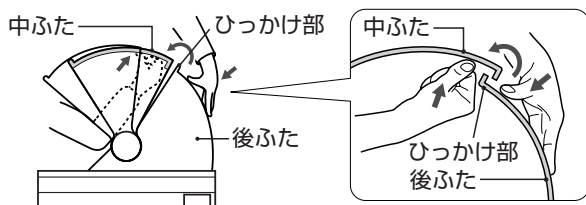
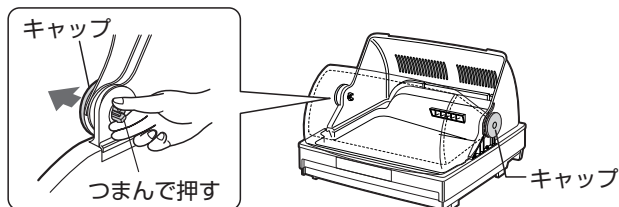
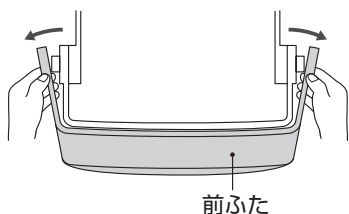
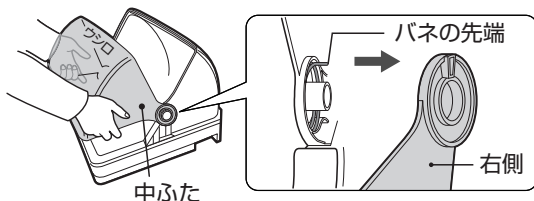
- 乾いたまな板は入れない（ひび、変形の原因）
- お湯で洗い、水滴をよくきってから入れる
- 乾燥時間は長めにする
- 乾燥後、入れたままにしておかない（まな板がよく洗えてないとカビの原因）

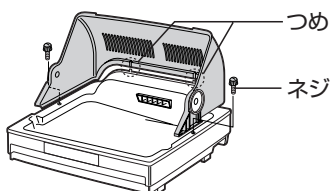
ふたの取りはずしかた

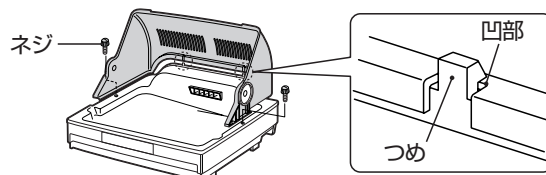
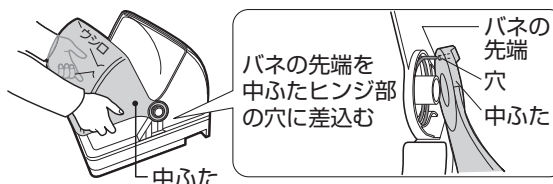
■指をはさまないように気をつける（けがを防ぐため）
■ふたの両側をしっかり持って外側に広げながらゆっくりと行う（ふたが割れるのを防ぐため）
■ふたはていねいに扱う（ふたが割れるのを防ぐため）

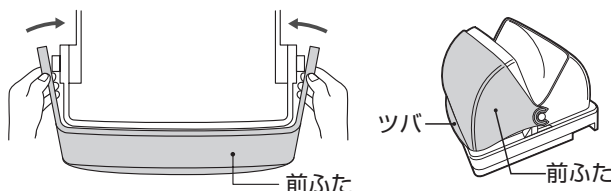
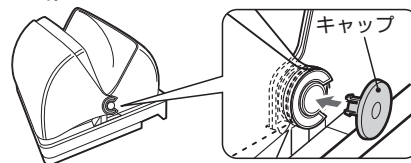
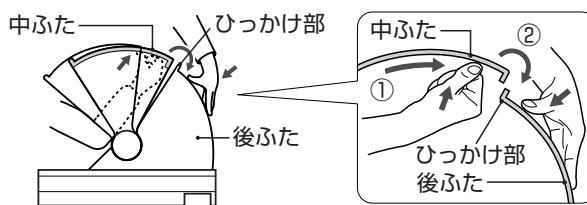
はずしかた

1. カゴを本体からはずす

2. 図のように後ふたと中ふたを押しながら、ひっかけ部をのりこえさせる（左右２ヵ所）

3. キャップをはずす（左右２ヵ所）
図のようにつまんではずす

4. 前ふたをはずす
外側に広げながらはずす

5. 中ふたをはずす
①図のように中ふたの右側を外側に広げ、中ふたからバネの先端を抜く
（左側からはずすとバネが抜けにくい）

②左側をはずす

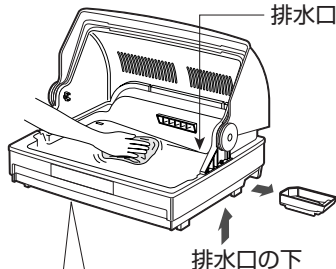
6. 後ふたをはずす
ネジ（左右２ヵ所）をはずし、つめ（左右２ヵ所）からはずす

取付けかた

1. 後ふたを取付ける
凹部（左右２ヵ所）をつめ（左右２ヵ所）に差し込み、ネジ（左右２ヵ所）を締める

2. 中ふたを取付ける
①ふたの前後を確認する
（中ふたの後側には「ウシロ」の表示がある）
②図のように右側のバネの先端を中ふたの穴に差し込む

③左側を取付ける

3. 前ふたを取付ける
①ふたの前後を確認する
（前ふたの前側にはツバがある）
②中ふたにかさね、前ふたの両側を外側に広げながら取付ける

4. キャップを取付ける
「カチッ」と音がするまでしっかり押し込む
（左右２ヵ所）

5. ふたをつなげる
①中ふたを後ふたまで引きよせる
②図のように中ふたと後ふたを押しながら後ふたのひっかけ部をのりこえさせる（左右２ヵ所）

お手入れ

■必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めてから行う（やけどを防ぐため）
■シンナー、ベンジン、みがき粉、たわしなどは使わない（傷・変形の原因）
■本体に水をかけて丸洗いしない（感電・故障の原因）

本体・ふた・庫内・まな板乾燥室・排水口

- うすめた台所用中性洗剤を含ませた布でふき、乾いた柔らかい布でふく
- 排水口は特に汚れやすいので、こまめにふく
  汚れがひどいときは、排水口の下からふく
  （水もれの原因）

■庫内に水をかけない（感電・故障・水もれの原因）
■ふたを強い力で手前に引っ張らない （故障の原因）

お知らせ

■ふたは、はずせます。➡6ページ
■ふたの取付け部には、ふたの滑りを良くするため、グリスが塗ってあります。
通常は、ふき取らないでください。
■ふたを洗い、グリスがついてないときは、ふたグリス（別売品）を塗ってください。

＊ふたグリスは三菱専用をお使いください。➡3ページ
（専用以外のものを使うとふたが破損することがあります。）

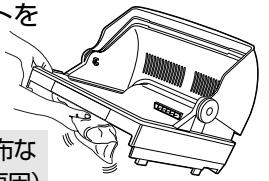
水受けカップ・排水ホース

2ヶ月に1回程度
（水あかやゴミが付着すると水もれの原因）

- 排水ホースの中に水を通して水洗いする
- 水受けカップの排水口を水洗いする

消臭プレート

1ヶ月に1回程度（水あかやゴミが付着すると消臭効果が下がる原因）

1. 水を含ませた布で、消臭プレートをしめらせる
   （消臭プレートは、はずせない）
2. かたく絞った柔らかい布でふく

お願い ナイロンたわしや乾いた布など固いものでこすらない（傷・故障の原因）

ステンレスシンク・食器カゴ・はし立て

- 水洗いして、乾いた布で水分をふく
- 細かいところは歯ブラシなどを使う

ステンレスの水あかが取れにくいとき

クエン酸を入れたぬるま湯につけるか、含ませた布でふき、よくすすぐ　＊クエン酸は薬局でお買求めください。

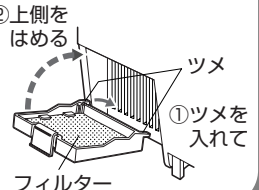
抗菌加工ステンレスについて

■抗菌効果を保つために、表面は常にきれいにしてください。

〈抗菌の確認試験機関名〉㈶日本食品分析センター
〈試 験 方 法〉JIS Z 2801に基づく
〈試 験 結 果〉99％以上
〈抗菌の方法〉ステンレス鋼に添加
〈抗菌材の有効成分〉銅
〈抗菌の処理を行っている部品名称〉ステンレスシンク

フィルター・フィルターケース

1ヵ月に1回程度（ホコリがたまると乾きが悪くなる原因）

1. 本体からフィルターケースをはずす
2. フィルターを取出し、軽くたたいてホコリをとる
   汚れがひどいときは、水洗いし、よく乾かす
3. フィルターケースを水洗いし、よく乾かす
4. フィルターをフィルターケースに取付ける
5. 本体にフィルターケースを取付ける

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に取扱説明書をよくお読みの上、下記の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ
運転しない	●電源プラグは確実に差込まれていますか。
乾きが悪い	●フィルターが目詰まりしていませんか。➡「お手入れ」 ●食器を入れすぎていませんか。間隔を開けて食器を並べていますか。 ●ふたは確実に閉まっていますか。
本体の下側から水がもれる	●水受けカップは奥まで確実に入っていますか。 ●本体が傾いていませんか。 ●庫内を水洗いしませんでしたか。 ●水受けカップ、排水ホースに水あかや、ゴミが付着していませんか。➡「お手入れ」 ●排水口が汚れていませんか。➡「お手入れ」
温風が90℃より低い	● 90℃は温風吹出口1cmで室温30℃の時です。室温により変化します。

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

保証とアフターサービス

■保証書

- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
- 内容をお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間	お買上げ日から１年です

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このキッチンドライヤーの補修用性能部品を製造打切り後、６年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」（別紙一覧表）にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（7ページ）にしたがってお調べください。
なお、不具合があるときは、必ず電源プラグを抜いてからお買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は
商品と保証書をご持参のうえ、お買上げの販売店に依頼してください。

◎保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料になることがあります。

◎修理料金は
技術料＋部品代などで構成されています。

◎修理部品は
部品共用化のため、色等を変更する場合があります。

◎ご連絡いただきたい内容

1. 品名（キッチンドライヤー）	3. お買上げ日
2. 形名（TK-ST10）	4. 故障の状況

愛情点検

★長年ご使用のキッチンドライヤーの点検を！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 異常な振動や音がする。
- 電源が入らない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止
故障や事故防止のため、電源プラグを抜いてから、必ず販売店にご相談ください。